

はかた匠工芸 (3610)

2017/12 期は大幅増収増益、今期も大幅増益見通しで黒字定着となるか？

TOKYO PRO MARKET | 専門衣料製造小売 | 業績フォロー

BLOOMBERG 3610 JP | REUTERS 3610.T

- 2017/12 期は売上高が前期比 41.2%増の 12.41 億円、営業利益は同 40.7%増の 1,148 万円、経常利益が同 50.5%増の 563 万円、当期純利益は黒字転換の 385 万円（前期は 1,102 万円の赤字）と収益が大幅に改善。女性和装品販売や京都拠点の製造品卸の販路開拓に注力。
- セグメント別の収益では、レディース和装事業は売上高が同 44.0%増の 11.75 億円、セグメント利益が同 4.1%減の 1,373 万円。受注増、経費管理が奏功した。男きもの事業は売上高が同 4.3%増の 6,538 万円となったが、セグメント損益は 225 万円の赤字（前期は 616 万円の赤字）。2014/4 より参入した同事業では、潜在的な需要掘り起こしに注力も、受注獲得に結び付いていない状況である。
- 2018/12 期の会社計画は、売上高が同 0.6%増の 12.48 億円、営業利益が同 2.4 倍の 27 百万円、経常利益が同 3.9 倍の 22 百万円、当期純利益は 5.7 倍の 22 百万円の見通しである。

What is the news?

2017/12 期は売上高が前期比 41.2%増の 12.41 億円、営業利益は同 40.7%増の 1,148 万円、経常利益が同 50.5%増の 563 万円、当期純利益は黒字転換の 385 万円（前期は 1,102 万円の赤字）と収益が大幅に改善。日本和装グループの「日本和装の無料きもの着付け教室」等の受講者に女性向け和装品を販売し、京都を拠点とする製造品卸の販路開拓に注力した。また、男きもの専門店「SAMURAI」ブランドの確立に向け、自社企画の低価格高品質な商品を提供し、消費者に認知されつつある。事業の核と捉え、男きもの市場の開拓にも注力した。

セグメント別の収益では、レディース和装事業は売上高が同 44.0%増の 11.75 億円、セグメント利益が同 4.1%減の 1,373 万円。販売回数増加に伴い新規卸先が増加し受注が増え、販売会における販売経費管理の徹底が功を奏した。男きもの事業は売上高が同 4.3%増の 6,538 万円となったが、セグメント損益は 225 万円の赤字（前期は 616 万円の赤字）。2014/4 より参入した同事業では、「SAMURAI」ブランドの確立に向け、男きもの着付け教室を中心に、潜在的な需要の掘り起こしに販売経費を支出したが、受注獲得に結び付いていない状況である。

How do we view this?

2018/12 期の会社計画は、売上高が前期比 0.6%増の 12.48 億円、営業利益が同 2.4 倍の 27 百万円、経常利益が同 3.9 倍の 22 百万円、当期純利益は 5.7 倍の 22 百万円の見通しである。

会社側は引き続き外部環境が厳しいと見ているが、レディース和装事業では引き続き生産体制や製造原価率を改善し、成長性確保を図る。男きもの事業では、男きもの専門店「SAMURAI」のブランド価値確立により売り上げ拡大を目指し、市場開拓に向けての先行投資を続ける。4,058 万円の債務超過（2017/12 末）解消に向け黒字定着となるか注目したい。

業績推移

事業年度	2013/12	2014/12	2015/12	2016/12	2017/12	2018/12F
売上高(百万円)	206.32	528.26	790.43	878.94	1,241	1,248
経常利益(百万円)	-10.46	-119.79	-22.75	3.74	5	27
当期純利益(百万円)	-6.99	-134.14	-23.65	-11.03	3	22
EPS (円)	-19.52	-259.41	-45.69	-21.30	7.45	42.56
PER (倍)	-	-	-	-	69.80	12.22
BPS (円)	226.26	-21.76	-76.59	-97.89	-90.44	-
PBR (倍)	2.30	-	-	-	-	-
配当 (円)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(※) Fは会社計画)

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

配当予想 (円) 0.00 (会社予想)
 株価(円) 520 2018/9/12(基準値)

会社概要

2007/3に日本和装HDの100%子会社として設立された。はかた匠工芸は、日本和装グループ会社の中で製造部門を有する唯一の子会社として、織物を製造販売。主力は「博多帯」であり、日本三大産地のひとつである福岡県で織物の製造販売を行っている。

かねてより和装文化に関する豊富な知識を有する人材を「伝統文化テラー」として委任契約を締結、契約企業各社が商品販売する際には、「伝統文化テラー」が和装文化に関する知識を受講者へ適切に伝達することで、着物に関する「潜在市場の掘り起こし」に注力してきた。

2009/1に日本和装HD社の取引先倒産から、同社の博多帯の製造工場(株式会社匠工芸)も倒産の危機にあり、はかた匠工芸が匠工芸の従業員を受け入れ、博多帯の製造工場の運営に携わることとなった。以降、はかた匠工芸は、日本和装グループにおいて、帯の製造部門を有する会社としての位置付けとなった。2012/3に商号を日本和装ホールセラーズ株式会社から現在の株式会社はかた匠工芸へ変更。2014/4には博多織工業組合に加入し、同月に東京銀座・京都祇園に男きもの専門店「SAMURAI」を開店。2014/7に東京証券取引所TOKYO PRO Marketに上場した。

企業データ



主要株主(2017/12/31)

株主名	(%)
1. 日本和装ホールディングス株式会社	77.23
2. 酒井 茂	2.12

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

庵原 浩樹
 hiroki.ihara@phillip.co.jp
 +81 3 3666 6980

増淵 透吾

togo.masubuchi@phillip.co.jp
 +81 3 3666 0707

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹
公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵 透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則(平14.1.25)」に基づく告知事項>

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第102条の規定に基づき、発行会社の担当J-Adviserに就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っております。